

日本山岳救助機構 (jRO:ジロー) 会員の皆様

日本山岳救助機構合同会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-20-14 サンモール第 8 マンション 203

2014 年度事後分担金のご通知とご報告 および 2013 年事後分担金の精算についてのお知らせ

① 2014年度事後分担金のご通知 **600 円**

●会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。

- ・事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補填金及び臨時費用補填金(以下補てん金と略)の総額を会員総数で除したものです。
- ・2014年度の計算期間は2014年1月1日～12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に、1会員あたり600円の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
- ・団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日(管理期間)が2014年1月1日～12月31日の場合に、2014年の事後分担金のお支払いをお願いいたします(現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2014年に属していない場合でも、本会員開始日が2014年の場合には、2014年の事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします)。
- ・事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
- ・計算方法についてはP2～3をご参照ください。

② 2013年補てん金額の確定による相殺(割引)額 **▲600 円**

●対象となるのは2014年のjRO会員、かつ2013年事後分担金支払済みの会員の方です。 (退会者等を除きます。下記※注をご参照ください)

- ・2013年度の事後分担金は昨年800円と算出しましたが、2014年11月11日現在カバレッジ対象額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2013年度補てん金総額を上回ったため、2013年継続会員の方に**▲600円**を相殺(割引)させていただきます

※注:2014年にjRO会員で、かつ2013年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行うことができません。ご了承をお願いします。

- ・すでに退会済、または2014年はjRO会員でない方
2014年度事後分担金のご案内および2015年度への継続ご案内がお送りできない場合等
- ・2013年の本会員(団体、家族会員の本会員)がすでに退会している方
2013年は個人会員で2014年継続時に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
- ・2013年と2014年では、本会員が異なる方
所属の団体を変更した場合等【2013年の事後分担金をお支払いいただいた2013年度の本会員ではなく、2014年度の本会員へ相殺(割引)処理が行われます】
- 各会員に関しての金額の詳細は2014年度から2015年度への継続の案内をご参照ください。
- 2013年事後分担金の確定額計算についてはP4をご参照ください。

上記に対象の方の2014年事後分担金は、1会員あたり**0円**(600円-600円=0円)となります

この件のお問い合わせはjRO事務センターへお願いいたします。

2014年補てん金お支払い実績表(★未請求含む)

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	東京都 五日市 払沢の滝周辺の山	※ 単独 帰宅せず、家族が警察に捜索依頼。その後遺体で発見される。単独のため、詳細不明。	死亡	¥300,000 ★
1	城ヶ崎 門脇崎 スカイラブ	最初のカムをセット、クラックを斜上するときにフォール。カムが外れ約4m下のテラスにグランドフォールする。居合わせた7名で引き上げてもらい、病院まで搬送する。	負傷	¥28,350
2	長野県 湯川 アイスクライミング ゲレンデ	※ 滑落 降雪時にアイスクライミング用トップロープをセット。岩場の上部に入る。堅い部分に乗った新雪に滑り、岩場の基部までグランドフォールする。積雪がひどく、救急車などの利用はできず、ドクターヘリで救助される。	負傷	¥32,040
2	岐阜県 白川村 野谷庄司山	雪崩に巻き込まれ、同行パーティーより119番へ通報。岐阜県の防災ヘリが約2時間後救助。岐阜県高山市内の病院へ運んだが、脳挫傷で死亡が確認された。	死亡	¥250,000
3	山梨県 丹沢 大室山	※ 道迷い・滑落 山スキーの下山途中に1人姿が確認できなくなる。夜8時頃まで下山を待つが、確認できず。翌朝より所属会・大月警察署(地元山岳会含む) 津久井警察署・津久井消防・神奈川県警ヘリの地上×4、ヘリ×1計5チームで捜索開始。昼過ぎに滝下の雪穴に横たわっている遭難者を発見するも、滝水がかかっており呼びかけにも反応はなかった。翌日収容作業を行う。	死亡	¥479,877
4	長野県 八ヶ岳 赤岳 地蔵尾根	※ 滑落 地蔵尾根上部にて80mほど滑落する。その際、右足が動かなくなってしまう、他パーティーの協力でロープをFIXし尾根まで引き上げる。その後、救助要請。天候が悪いため、ヘリの出勤は不可と判断され、人力で降ろすこととなる。小屋まで別パーティーのロープなども使いながら降ろす。さらに鉱泉よりのストレッチャーに乗せ降ろす。そして自動車、さらに救急車に乗り病院へ搬送される。	負傷	¥228,884
5	北アルプス 爺ヶ岳付近	※ 単独 積雪がグズグズで足がはまって歩行が難しく、4時間かかっても冷池山荘に到着できず、疲労もあって18時頃、途中でビバークしたが、冷池山荘の人に救助され冷池山荘へ搬入される。翌日ヘリで松本へ下山する。	凍傷	¥162,880
5	北アルプス 立山 雄山	※ 単独・滑落 雄山西側の標高約2500メートル付近の斜面で、「頭を負傷し、意識を失った男性が倒れている」と付近の登山者から通報があった。ヘリコプターで病院に運ばれたが、約1時間後に死亡が確認される。	死亡	¥200,463
5	西上州 荒船山	※ 滑落 毛無岩付近で滑落。110番。県警が捜索したところ、約2時間後、登山道から約50メートル下の沢で倒れているのを発見、県警ヘリで病院に搬送されたが死亡が確認された。登山道の崩壊箇所を偵察しかけた際、足元が崩れ滑落したと思われる。	死亡	¥500,000 ★
5	北アルプス 涸沢	小屋にて宿泊中、尿管結石を発病。午前2時頃右腹部から右腰部にかけて激痛。あぶら汗、吐き気をもよおす。午前4時頃痛みが激しさを増したため、就寝中の山小屋スタッフを起こし、ヘリでの救助を依頼する。7時半頃ヘリ到着、松本市内の病院に搬送治療。	病気	¥107,736
6	長野県 天水山 信越トレイル	下山中、少しぬかっている所で木の根につまづきすべった。その際、すねと足首を骨折。同行パーティーの親族で地元在住の方に救助に来てもらい、担いで登山口まで下ろしてもらう。	負傷	¥10,000
6	北アルプス 北穂高岳 松濤岩下	※ 滑落 北穂高岳の南稜付近で男女2人の遺体が25日夜発見され、県警松本署が26日朝、県警ヘリコプターで遺体を収容した。約200メートル滑落したとみられる。2人は計5人のパーティーで23日に入山した。25日は他の仲間と別行動で、北穂高岳を往復する予定だったが、小屋に戻らなかったため、仲間が110番した。遭対協の救助隊員が2人の遺体を発見した。	死亡	¥700,000 ★
			死亡	¥500,000 ★
7	鳥海山 河原宿小屋近く	※ 道迷い・滑落 雪渓の上で道に迷い、登山道を探しているうちに暗くなってしまったので、ささやぶの下で雨具を着てビバークした。翌朝再び道を探そうとしたがもやがかかって視界がきかず、行動不能になってしまい救助要請する。	特になし	¥125,000
7	長野県 八ヶ岳 大同心	八ヶ岳大同心をクライミング中に滑落し、足、首、指を骨折。同行者、付近パーティ、消防などにより美濃戸口まで降ろしてもらい、そこから救急車で病院へ搬送された。	負傷	¥500,000 ★

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額	
8	北アルプス 白馬鍾ヶ岳	※ 滑落 白馬鍾ヶ岳から白馬鍾温泉小屋に向け下山中、小屋を目前に足を踏み外し滑落。雪渓と斜面の間にはまり、おおむけ状態にて停止。同行者が救助要請。遭難対策協議会の隊員により救助。鍾温泉小屋まで付き添いで下山。翌日ヘリにて麓まで搬送後、救急車にて病院へ搬送。	負傷	¥108,916	
8	北アルプス 五竜岳	五竜山荘出発 20 分後、登山道にて心肺停止となる。夏山常駐パトロール隊員が救命措置をし、県警ヘリコプターで収容したが死亡が確認された。	死亡	¥275,000	
8	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	※ 滑落 大学山岳部の仲間 3 人と 4 日に入山。6 日朝に 4 人で五竜岳に向かう途中に行方が分からなくなった。翌日遺体が発見されヘリで収容される。遺体は登山道から約 5 0 0 メートル下の岩場で見つかかり、滑落して頭部を強く打ち死亡したとみられる。当時周囲は霧に覆われ、視界は悪かったという。	死亡	¥1,000,000★	
8	北アルプス 常念岳	常念岳登頂後、体調不良に（息苦しく）なり動けなくなる。常念小屋で診察したところ、医師により自力下山は不可と判断。ヘリコプターで病院へ収容。	病気	¥39,260	
8	北海道 知床 硫黄山	※ 道迷い・滑落 羅臼岳からの縦走コースで硫黄山へ登頂後、道に迷う。現在地がわからないまま沢筋を下りその後、岩場にて 2～3 メートルほど滑落し、歩行困難となり付近の岩陰でビバークする。4 日後、再び行動開始。さらに 2 日後、林道脇の防護柵へたどりつき崖斜面から生えている木にまたがり待機。ヒグマの生態調査で通りがかった知床自然センター職員により警察へ通報。同職員の車で搬送後、救急車にて病院へ搬送。	負傷	¥262,503	
8	北アルプス 穂高岳	※ 滑落 登山ツアーに参加。穂高岳山荘から奥穂高岳へ縦走中、吊尾根上にて 130 メートルほど滑落。山岳ガイドが降りて確認時、既に心肺停止状態。県警ヘリにて収容。	死亡	¥239,772	
9	北アルプス 五竜岳	※ 単独 登山（上り）中に転倒し、大腿骨骨折。消防ヘリにて救助。	負傷	¥300,000★	
9	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	※ 滑落 鹿島槍ヶ岳の八峰クレット付近でバランスを崩して約 1 5 0 メートル滑落。翌日県警ヘリにより収容。	死亡	¥230,080	
9	御嶽山	噴火による死亡。	死亡	¥128,460	
9	北アルプス 北穂高岳	※ 滑落 3 日北穂高岳から上高地へ下山中にパーティーとはぐれる。7 日午前、南陵南側斜面にて死亡しているのを県警が発見。	死亡	¥345,948	
10	岐阜県 白山	藪尾根移動に想定以上の時間がかかり、暗くなってしまう行動不能となり尾根上でビバーク。下山遅れを確認し、所属山岳会が救助要請。また、同山岳会メンバーも現地入りしたが、警察の指示でふもとで待機。その後、自力下山。	特になし	¥300,000★	
10	神奈川県 陣馬山	陣馬山登山中、冠状動脈硬化による虚血性心不全により死亡。	死亡	¥400,000★	
総額 (11/11 現在)【支払済+★未請求 (見込) 額】				A	¥7,755,169
推計値 (11/11 現在未報告案件及び 11/12 以降発生案件に対応するため 下記参照)				B	¥16,500,000
2014 事後分担金算出の基礎数値 (事後分担金計算式の分子) A + B				C	¥24,255,169
2014 会員総数 (11/12 現在のエラー無会員総数)				D	43,863 名
2014 事後分担金 C ÷ D = ¥552 (端数切り上げ)				E	¥600

◎推計値 (B 欄 ¥16,500,000円) の算出について

- 一般的に12月の遭難件数は他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても2013年は4件、12年は2件4名、2009年は2件、2008年12月は3件のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています。(2011年には発生はありませんでした)
2012年のものは、非常に長期にわたる捜索活動が実施されました。また過去12月にはほぼ満額のカバレッジの支払いもあります。
- jRO会員数は2009年末の会員数約 1 万名に比べて、4.4倍(約4.4万人)となり、事故件数はそのまま4.4倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- また、遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多く、11月上旬において事後分担金を算出する場合、10月までの未報告案件のあることも考慮する必要があります。
- 推計値はある程度の幅を見込みますが、1,650万円という数値はjROの規約による補てん金上限(330万円)の支払が起きた場合には、5名分の金額になり、前記のような過去の経験値を勘案し算出いたしました。
- 2014年の補てん金額が確定されるのは2015年11月を予定しております。
- 算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- 次ページに2013年度補てん金お支払い実績表(確定)を掲げました。

2013年補てん金お支払い実績表(確定)

●2013年事後分担金の精算(相殺処理)金額: ▲600円

●2014年11月現在、昨年度補てん金お支払対象案件は下表以外の発生は想定できません。よって以下を2013年補てん金(カバレッジ金額)総額といたしました。

★未請求案件

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	八ヶ岳 赤岳 主稜	※ 滑落 登はん中時間切れで懸垂下降を行ったが、ルートを誤り途中で断念。ピバークのため雪洞を掘っている際に、滑落。	負傷	¥154,136
1	北ア 西穂高	西穂高岳(標高2909M)の山頂付近で悪天候吹雪、凍傷や疲労で動けなくなり救助要請110番。ピバーク。	死亡	¥408,730
1	北ア 大天井岳	体調不良と天候悪化により、自力で下山ができなくなりました。1/1未明より天候悪化&体調不良で行動困難ピバークとなる。低温化でのピバーク中でさらに体調悪化し、1/3同行者が救助要請。	凍傷 凍傷	¥330,433
2	北ア 蝶ヶ岳 付近	※ 道迷い 積雪と道迷いにより下山(行動)不能となりヘリコプターにより救助される。	詳細不明	¥500,000
2	山形県 天元台スキー場	※ 単独 道迷い 滑走中コースを外れたことに気がつき携帯で仲間と連絡。その後14:30ころ警察に救助要請。ピバークののち、翌日7:00頃ヘリで発見され、救助される。	特になし	¥233,708
3	埼玉県 両神山	※ 滑落 山頂付近鎖場より約150m下の崖にて滑落。同行者が警察に救助要請、防災ヘリにより救助されるも死亡を確認。	死亡	¥200,000
3	群馬県安中市 五輪岩	事故詳細不明。帰宅しないため家族が捜索依頼。報道によると、岩壁の近くで、埼玉県に住む男性2人の遺体が見つかり、警察では、2人がロッククライミング中に誤って落ちたものとみて調べている。	死亡 死亡	¥214,700 ¥249,850
3	北ア 鹿島槍 天狗尾根	※ 滑落 天狗尾根上部 荒沢の頭付近より滑落(推定)し死亡。予備日になっても連絡が取れないため、家族が同日夜、警察に届け、県警ヘリが翌日午前から捜索していた。	死亡	¥203,680
4	北ア 雪倉岳 柵池	※ 単独 下山予定すぎて連絡がないため家族が大町署へ捜索願。範囲が広範なため、富山/新潟にもそれぞれ届出、捜索活動が広範に行われる。5月中旬蓮華温泉付近で山小屋関係者が発見。死亡。単独のため、詳細不明。	死亡	¥736,072
4	中ア空木岳 池山尾根 大地獄	※ 滑落 斜面を下りトラバース中に足元の雪が崩れ滑落、メンバーの視界から消える。おおよそ80mほど下っても発見ができないため、自力での捜索・救助は困難と判断し、警察に救助要請。	負傷	¥243,557
5	北ア 爺が岳	スキートラバース中に転倒 左肩関節脱臼。地元遭対協により救助。	負傷	¥48,540
5	北ア北穂高岳 滝谷ドーム	※ 単独 奥壁バンドが氷壁になっており、支点が取れず行動不能となり県警ヘリにて救助。	負傷	¥209,153
5	八ヶ岳 天狗岳 中山峠	※ 滑落 登山道でスリップして転倒 滑落。顔面に岩に打ち頬骨骨折。小屋まで自力で行動後、小屋より救助要請。ヘリで諏訪のヘリポートへ、そこから病院へは救急車。CT検査ののち、治療に適した病院へ救急車で再度搬送。	負傷	¥47,760
6	埼玉県飯能市 日和田山	※ 単独 単独登はんの練習中(ビレイ) デバイスがFIXしたロープにロックし、外そうとしたが、どうすることもできず、宙づりとなる。翌朝登ってきた別パーティーに意識をほぼ失った状態で発見され、救助。ヘリで病院に搬送された。	負傷	¥135,160
7	南ア 農鳥岳	※ 単独 雪渓にて滑落。200mほどで、一度木の枝をつかんだが折れ、さらに50mほど滑落。尾根を目指すが、力つきる。救助要請するも視界悪く時間切れ、ピバーク。翌朝5時頃ヘリで救出される。	負傷	¥16,290
8	北ア(槍・穂高) 大キレット	※ 単独 一般縦走路上の一枚岩で、スリップ転倒。右足首を強くひねり、テーピングなどで処置したものの、荷重をかけられない状態のため、警察に救助要請を行う。その後県防災ヘリに14:30頃救助され、病院へ収容。	負傷	¥120,000
8	南ア 塩見岳	下山中、水たまりに足を取られて転倒、右足首を痛める。歩行困難のため、救助要請するが、携帯は繋がらない。同行者が三伏峠小屋まで走り、13:20頃救助要請。その間に付近他パーティーによる応急処置を受け、付き添いを受けながら、5時間ほどかかり山小屋に到着。翌朝7:00ヘリにて飯田市民病院に搬送される。	負傷	¥56,770
9	北ア 濁沢	所属山岳部部長と幕営中、夜間に激しい腹痛に見舞われ、自力下山したが、途中の山小屋で腹痛により自力歩行が困難になり救助要請した。	病気	¥104,160
10	北ア 上高地 奥又白谷	※ 単独 下山中、雨の中、草で転倒し左足首を骨折。単独だった為、後続者へ救助要請を依頼。レスキューシートをかぶり救助を待つ。背負われて林道まで下山。消防の四駆で搬送。上高地から救急車にて最寄り医療機関へ搬送。	負傷	¥67,700
11	北ア 穂高連峰 濁沢岳	※ 滑落 濁沢岳から北穂への縦走中、途中で20mから30m滑落した。自力で山小屋まで行ったが、それ以降動けなくなり、救助を要請。	負傷	¥273,940
11	飯豊山	朝からの小雨。下山中に積もった落ち葉の下に木の太い根があり、左足を滑らせて転倒した際に足首を負傷。ヘリにて収容、病院へ搬送。	負傷	¥67,935
11	立山 真砂岳	立山連峰・真砂岳(2,860M) 西側斜面で発生した雪崩に山スキー中に巻き込まれた。詳細不明。	死亡 死亡	¥106,447 ¥121,965
12	八ヶ岳 ジョウゴ沢	※ 滑落 八ヶ岳 ジョウゴ沢乙女の滝ローテラッツ アイスクライミング中に滑落。	死亡	¥600,000
12	新潟県 大源天山	天候不良による積雪のため下山が大幅に遅れる。所属山岳会により警察へ救助要請。翌朝同救助隊により無事が確認される。	特になし	¥368,460
12	八ヶ岳 赤岳 主稜	岩角にアイゼンをひっかけ骨折する。同日の民間ヘリによる救助は視界不良で引き返す。翌日長野県警ヘリにて救助される。	負傷	¥235,080
12	南ア 仙丈ヶ岳	※ 滑落 丹溪新道を頂上に向け登山中バランスを崩し、ブロック崩落も受け雪面を200mほど滑落。	負傷	¥40,990

2013年度補てん金額合計

¥6,095,136^{※1}

2013年度事後分担金精算額

上の補てん金総額および口座振替などによる支払い状況により、2013年事後分担金の確定精算額は、**会員1名あたり200円**といたしました。

すでに2014年に事後分担金を800円お支払いいただいておりますので2015年に600円を返金(相殺処理)させていただきます。

ご了承をお願い申し上げます。

2013年度事後分担金支払い状況	口座請求額	振替不能額	支払済
1月1日~10月31日口座請求実績	¥28,784,000	¥2,167,200	¥26,616,800 ^{※2}
11月27日口座請求見込み	¥684,800	¥68,480 ^{※3}	¥616,320
11月10日クレジット請求	¥489,600	¥48,960 ^{※3}	¥440,640
合計	¥29,958,400	¥2,284,640	¥27,673,760
2013年度補てん金額	¥6,095,136 ^{※4}		
超過額: A	¥21,578,624 ^{※5}		
事後分担金お支払済み人数: B	34,413 ^{※6}		
事後分担金精算額: A/B	¥600 ^{※7}		

※1 お支払事後分担金総額
 ※2 郵便振替支払い含む
 ※3 過去実績より約10%と推定
 ※4 受付済未請求事故2件(★)を含む
 ※5 ¥27,672,928 - ¥6095136
 ※6 10月末日までの各会員支払実績および11月以降予定人数
 ※7 ¥627100の100円未満を切捨て